

# 東部地域計画

## 1 地域の概要

- 東部地域は、群馬県東部の4市5町からなり、渡良瀬川上流部の中山間地域から大間々扇状地を経て、利根川と渡良瀬川の二大河川に囲まれた平坦地域へと展開しています。
- 国営渡良瀬川沿岸事業及び県営事業で造成した基幹農業水利施設によって、農業用水を広域的に供給できるようになり、畑地かんがい施設による小玉すいかやほうれんそうなどの施設園芸作物や、県内の米の4割以上を生産する水田農業が盛んに行われています。
- きゅうり、トマト、なす等の施設野菜、やまといも、ブロッコリー、ねぎ、はくさい等の露地野菜の生産も盛んです。また、近年はキャベツ等の加工・業務用野菜の生産が一部で増加しています。



広大な水田地帯（板倉町）



畑地かんがいによるほうれんそう栽培（太田市）

## 2 現状及び課題

- 邑楽・館林地域や太田地域の小区画・未整備な水田及び畑では、農作業効率が悪く、近年は耕作放棄地が増加傾向にあります。そのため、経営規模拡大や経営安定化のための生産基盤整備が必要です。
- 国営渡良瀬川沿岸事業等で造成された基幹農業水利施設では、施設の老朽化や地域開発等によって施設管理が困難となることが懸念されています。そして、それらの農業水利施設を管理する土地改良区では、農業就業人口の減少に伴って組合員数が減少しており、管理体制の強化が必要です。
- 老朽化した水利施設を多く抱える邑楽・館林地域では、適時・適切な保全対策が必要です。
- 太田及び桐生・みどり地域の丘陵地には、26箇所の防災重点ため池がありますが、豪雨や地震時の被災が懸念されるため池が存在しており、住民の安全を確保するための対策が急務です。また、排水路が未整備な藪塚西部地域では、近年の集中豪雨や台風に起因した農地等の湛水被害が発生しており、地域排水対策が必要です。
- 桐生・みどり地域の中間山地域では、鳥獣被害や農業者の減少などによって耕作放棄地が増加しています。また、山間部における農業用水の維持管理体制や溪流からの安定取水の確保が課題となっています。

### 3 地域における施策の展開

#### (1) 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

- 五箇谷地区（板倉町）、下江黒地区（明和町）、緑町地区（太田市）において、区画整理154haを完成させ、担い手へ97haの農地集積を推進します。
- 新田赤堀地区（太田市）、木戸、野辺地区（館林市）において、担い手への農地集積を図るために区画整理176haの事業化に向けた推進をします。
- 城沼水路地区（館林市、板倉町）において、水路補修やパイプライン化等により、担い手へ39haの農地集積を推進します。
- 宝泉地区（太田市）、城沼地区（板倉町）において、畦畔除去等による区画拡大を実施し、担い手への農地集積を推進します。



整備前の狭小区画での稲刈り



整備後の大区画水田（板倉町：五箇谷地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積	40ha	137ha

#### (2) 持続的な農業用水の安定供給

- 深沢川頭首工、大間々用水地区（みどり市）、藤川用水地区（邑楽町）において、機能保全計画に基づく農業水利施設の長寿命化対策を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 利根加用水2期地区（千代田町）において、水管理システムの更新を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 阿左美沼土地改良区において、維持管理計画書の見直しを支援します。
- 県が管理する太田頭首工（桐生市）、邑楽頭首工（館林市）において、渡良瀬川中央土地改良区連合、渡良瀬川下流土地改良区連合と連携して適切な維持管理と補修整備を実施します。



管更生工法により長寿命化が図られた農業水利施設（みどり市：大間々用水地区）



太田頭首工洪水吐ゲートの補修整備（桐生市：渡良瀬川中央地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
基幹農業水利施設の長寿命化等対策工事を完成させる地区数	1地区	5地区

### (3) 安全安心な農村づくり

- 防災重点ため池（26箇所）のハザードマップの作成及び地域住民への周知を支援し、地域の安全安心を確保します。また、豪雨・地震における詳細調査を支援し、対策が必要とされた防災重点ため池の豪雨・地震対策を推進します。
- 奥沢下沼地区（桐生市）、寺ヶ入、西長岡ため池地区（太田市）において、防災重点ため池の豪雨・地震対策工事を完成させ、地域の安全安心を確保します。
- 大久保地区（太田市）において、地域排水対策を完成させ、湛水被害を防止します。
- 渡良瀬川中央地区の農地防災水管理システムを更新し、広域的に排水機能を強化して湛水被害を低減します。



豪雨により被災した防災重点ため池  
（桐生市：奥沢下沼）



排水施設が未整備な畑の湛水状況



排水路を整備し湛水被害を防止  
（太田市：大久保地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数	10箇所	26箇所

### (4) 魅力ある農村の構築

- 多面的機能支払交付金を活用した、農地や水路等の維持・保全に取り組む地域の協働活動を支援し、5,062haにおいて農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図ります。
- 市野井・市地区（太田市）において、最適整備構想に基づく農業集落排水施設の機能強化対策を支援し、農村環境の保全を図ります。



直営施工による水路補修活動（みどり市：東地区）



学校教育と連携した小学生の田植え体験  
（明和町：明和広域地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	4,612ha	5,062ha

## (5) 地域資源を活かした中山間地域の振興

- 酒米の生産拡大に取り組むみどり地域や集落活動が盛んな桐生地域において、元気で多様性のある中山間地農業の実現に向けて、持続的な生産活動を下支えするための基盤整備構想を策定します。



地域で取り組む酒米栽培 (みどり市)

## 4 地域の重点取組

- 渡良瀬川沿岸地区において、今後の産地収益力を向上させるために地域の課題を把握し、新たな農業展開に対応できる基幹農業水利施設のあり方を国や土地改良区と連携して検討します。
- 尾島東部地区は、地域特産品であるヤマトイモの産地でしたが、ほ場が狭小で道路が未整備なため営農に支障を来しており、耕作放棄地が増加傾向にあります。このため、集落への意識調査や座談会を通じて地域の課題を把握し、課題解決に向けた整備構想を策定して生産基盤整備を推進します。
- 県内初となる農地中間管理機構と連携した農地整備事業を下江黒地区で実施し、新たな野菜産地モデルとして地元関連企業の参画等による担い手の確保と高収益作物への転換を推進します。



邑楽頭首工 (館林市：渡良瀬川沿岸地区)



加工・業務用野菜の生産振興 (明和町)